

(別紙)

医療計画において定める地域医療構想との整合について

(主な記載内容)

「地域医療構想」(H28 策定時)	「医療連携推進方針」
<p>○高度急性期医療、回復期医療の不足（急性期及び慢性期医療の過剰）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高度急性期病床、<u>回復期病床が、特に不足していることから、医療需要に応じた提供体制の見直しや充足が必要である。</u></li> <li>慢性期病床には、急性期病院から<u>医療依存度が高いままの転院も増加、在宅医療の後方支援としての役割や、また当圏域には県内唯一の筋ジストロフィー病棟もあり様々な医療ニーズがあるため、一律に削減、転換することは困難な状況である。</u></li> </ul> <p>○他府県・他圏域との医療機能連携と患者の流出入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>当圏域では、<u>圏域内完結率 71.8%と県内でも完結率が低く、隣接する阪神南圏域や神戸市、大阪府への流出が多い状況にある。</u>住民にとって、身近な場所で受けたい医療が受療できるよう<u>不足する医療機能の充実や医療機関の連携強化を図る必要がある。</u></li> </ul> <p>○川西市、三田市は、当圏域外の生活圏域である市町との患者の流出入が大きく、従前から<u>救急医療等による医療連携が</u>されている。</p> <p>○<u>在宅医療を支えるための病床確保等、病院の積極的な参画</u>とともに、地域医療支援病院や医師会を中心にした在宅医療と介護の連携を深める必要がある。</p>	<p>○医療法人晴風園今井病院が市立川西病院跡地に移転し、主に回復期病床を整備することで、川西市北部の高齢化に対応し、<u>地域包括ケアシステムの構築を進める。</u></p> <p>○市立川西病院移転後の川西・猪名川地域の医療提供体制を確保する。</p> <p>○医療法人晴風園今井病院移転後の猪名川町の医療提供体制の確保を支援する</p> <p>○市立川西病院の移転により川西市北部及び猪名川町に不足する医療提供体制を補うため、診療所の開設及び休日診療所の設置を支援する。</p> <p>○医療資源の効率化を図るため、対象地域の救急医療の分担、集約化を行う</p> <p>○北部地域を含む川西・猪名川の地域包括ケアの確保を支援する。</p> <p>○在宅や施設での患者の急変時の対応として、民間を含めた事業者との連携強化を図る。</p>